

- ◆ 日時：2014年5月10日（土） 10：00～16：00
- ◆ 場所：中部品質管理協会会議室
- ◆ 参加者：井上、伊藤、大見、林、杉浦、牧野、梅本、山口、横尾、則尾、奥田(記)
- ◆ 内容

#### 1. 事務連絡等

- ①今後の開催場所変更について確認  
中品協開催： 5月, 7月, 8月, 10月, 1月, 3月  
ITEQ開催： 6月, 9月, 11月, 12月, 2月
- ②休会するメンバーとの連絡方法など  
休会するメンバーと幹事とで打ち合わせの上決定する
- ③7月の研究会でTRIZ勉強会を実施する。講師はアイウェル林さん

#### 2. 実験の目的によりSN比の計算方法は変化することの解説（井上さん）

技術実験をする場合、必ず実験を行う目的があり、その目的を達成するための実験計画の検討と実験後の解析法を実験前に吟味、整理しておく必要がある。

即ち実験の目的により実験計画が変わり、解析方法（SN比等）も当然変化する事を理解する。

---詳細は【添付解析事例】---

実験目的により、制御因子の割り付けや誤差因子（標示因子含む）の取り扱いが変わり、目的とするSN比の計算式及び当然結果に違いが出る。

田口先生が良く言っていた『実験の目的は何ですか』と質問する重要性を今一度認識したい！

#### 3. 論文紹介

2011年、研究発表大会で報告された、

「MT法、RT法の単位データ個数と、使用する直交表の比較（牧野さん）」

結論：

MT法は、単位データ数 $> 2 \times$ 項目数 で非常にうまくいき、RT法は、次元が統一されているデータではうまくいくが、次元が異なると良くない。  
そのほか詳細は割愛します。

#### 4. アングルトライの波形解析ソフトの使用法紹介（牧野さん）

騒音や振動などのデータをMT法などで解析しやすい形に変換するものである。

また、本研究会メンバーが作成した波形解析ソフトの使用法は次々回の研究会で説明いただく。

#### 5. 防ダニ性試験方法の試験条件検討（杉浦さん）

詳細は省略。

#### 6. 機能性製品開発の紹介

新技術・新商品開発の事例を紹介。今後、本事例が技術・商品戦略立案ステップ等の学習に有効かも含め検討してみる。

次回は6月7日（土） ITEQ本社事務所

以上